

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 2 月 17 日 (2005.2.17)

【公開番号】特開 2000-219536 (P2000-219536A)

【公開日】平成 12 年 8 月 8 日 (2000.8.8)

【出願番号】特願 平 11-19024

【国際特許分類第 7 版】

C 0 3 C 8/08

C 0 3 C 8/14

【F I】

C 0 3 C 8/08

C 0 3 C 8/14

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 3 月 12 日 (2004.3.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】低吸湿性ガラスフリット、ガラスセラミックス組成物および焼成体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

実質的に下記酸化物基準のモル % で、

P_2O_5 25 ~ 50、

SnO に換算したスズ酸化物 0 ~ 70、

ZnO 0 ~ 50、

MgO 0 ~ 50、

In_2O_3 0.1 ~ 12、

WO_3 0 ~ 15、

$Li_2O + Na_2O + K_2O$ 0 ~ 20、

B_2O_3 0 ~ 20、

Al_2O_3 0 ~ 10、

SiO_2 0 ~ 10、

からなり、かつ、 SnO に換算したスズ酸化物、 ZnO および MgO の含量が 30 ~ 70 モル % であり、軟化点が 620 以下である低吸湿性ガラスフリット。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の低吸湿性ガラスフリット 40 ~ 99 重量 % と、セラミックス粉末 1 ~ 60 重量 % とから実質的になるガラスセラミックス組成物であって、該ガラスセラミックス組成物を焼成して得られる焼成体の、50 ~ 250 における平均線膨張係数が $60 \times 10^{-7} \sim 90 \times 10^{-7} /$ であるガラスセラミックス組成物。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の低吸湿性ガラスフリットまたは請求項 2 に記載のガラスセラミックス組成物を焼成して得られる焼成体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

また、前記低吸湿性ガラスフリット40～99重量%と、セラミックス粉末1～60重量%とから実質的になるガラスセラミックス組成物であって、該ガラスセラミックス組成物を焼成して得られる焼成体の、50～250における平均線膨張係数が 60×10^{-7} ～ 90×10^{-7} / であるガラスセラミックス組成物を提供する。なお、「50～250における平均線膨張係数」を、以下単に「膨張係数」という。

また、前記低吸湿性ガラスフリットまたは前記ガラスセラミックス組成物を焼成して得られる焼成体を提供する。